

新川小 実践②	食に関する指導研修会（プランA）		
実施日時	8月7日（水） 9時30分～11時30分	実施場所	調べ学習室
対象	市内教職員・栄養教諭・ 学校栄養職員	指導者	山口県教育委員会 指導主事 船木隆司 宇部市教育委員会 指導主事 吉本健太郎 宇部市立二俣瀬小学校 栄養教諭 藤田千恵子
視点	・食事の重要性 ・感謝の心 ・心身の健康 ・社会性 ・食文化 ・食品を選択する能力		
ねらい	食に関する指導についての研修会を実施することで、栄養教諭の資質向上を図るとともに、管理職・教諭・養護教諭等、すべての教職員に食育の意義を浸透させ、学校における食育推進体制の強化を図る。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校における食育推進に関する説明 山口県教育庁学校安全・体育課こども元気づくり班 指導主事 船木隆司 学校教育目標に沿ってねらいを明確にし、目指す児童像に向け各教科の中で食の視点から指導する。 ○ 実践事例発表 発表者 二俣瀬小学校 栄養教諭 藤田千恵子 食育の取り組み（教科等・給食時間における指導、指導上の留意点）、食のコーディネーターとしての役割家庭・地域との連携、など、二俣瀬小学校での様々な実践事例から学ぶ。 ○ 研究協議 テーマ「新川小学校の食の自己管理能力を高める」 2つの内容について、班に分かれ協議、発表する。 ・栄養バランスの充実について（好き嫌い、適塩など） ・朝食の摂取について（食事内容、意識付け） ○ 指導助言 食育は学校全体で推進していくことが重要である。そのために栄養教諭が中核となり情報を発信していくことが求められている。 		
教職員の感想	<p>（栄養バランスの充実について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で取り上げることや、給食に指導することで理解を深めたい。 ○ 適塩については塩分計の活用や、出汁について学ぶ等の内容から興味関心を持たせる。 （朝食の摂取について） ○ 家庭科だけでは単発で終わってしまうため、委員会の活用や長期休暇中の宿題（朝食作り）に取り入れるような家庭へのアプローチも重要だと考える。 		
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導研修会を通して、全教職員に食育の重要性、推進に向けた体制づくりについて理解、周知することができた。 ○ 実践事例発表や研究協議から、栄養教諭・学校栄養職員の食育の推進方法や今後の関わりについて協議することができた。 ○ 栄養教諭・学校栄養職員の職務等を十分に理解していない教職員がいることが分かった。栄養教諭・学校栄養職員の職務や取組について、教職員にも情報発信し共通理解を図ることでより円滑な推進体制づくりに努めたい。 		

